



学校だより

はまがわ

発行 H30年12月3日

校長 喜屋武 辰弘

「自信」へつなぐ「ほめる言葉」

巷では、クリスマスのイルミネーションも目立つようになり、年度末の慌ただしさが漂うようになり、2018年も残り僅かになりました。そして、2学期前半は12月25日(水)で終了になります。

12月はまとめの月です。学校では、「目標としてきた力がついたか」「思いやりの心が育っているか」など、子どもの姿をよく見つめ、成長したところはほめ、もう少しのところは励まし、さらに確かな学力と心を育てまいります。

子どもの心を育て、力を伸ばすためには、「自信」を持たせることが大切です。子ども達一人一人には、頑張ったことやできるようになったことがいろいろあります。

子どもの姿をよく見つめ、どんな小さなよさもほめて認めてあげることで「自信」につなげましょう。特に継続して取り組んだ事、習慣化していることは、大いにほめてあげましょう。「自信」は次への意欲はもちろん、さらなる力の発揮にもつながります。何より自分自身を大切にすることになります。



低学年の子ども達は膝の上に抱いて、中・高学年の子ども達は手を取って向き合いながら、子どもの成長に対する親の喜びを、「〇〇ができるようになってすごいね。」などの温かい言葉を添えて、子どもの心に届けたいものです。

12月はクリスマスもありプレゼントの季節でもあります。子どもの「自信」につなぐ

「ほめる言葉」のプレゼントをしましょう。

おわりに、改めて今年を振り返り、学習面や生活面でのしめくりや反省をしっかりと行い、次年度、2019年が子どもたちや保護者の皆様にとって希望が持てるよい年になりますようお祈りいたします。



年末年始事件・事故の未然防止と規則正しい生活リズムを!

冬休み期間中は、大人も子ども年末・年始と行事等で慌ただしくなります。事故事件等に巻き込まれないように家庭でも確認をお願いします。

1 交通事故あわないようにする。

- ・車道で遊ばないようにしましょう。
- ・自転車の安全な乗り方を守りましょう。
- ・交差点や見通しの悪い場所での安全確認

2 事故あわないようにする。

- ・危険な場所(高所、海、川、池、用水路等)に近づかないようにしましょう。
- ・夜間の外出は保護者と一緒に行きましょう

3 遊び方やお金の使い方

- ・刃物 火薬 マッチ・ライター等の危険物を使わないようにしましょう。
- ・お年玉等で子供達の手元にお金あります。大切に使うように話し合しましょう。

4 不審者対応

- ・外出は家族へ伝えて複数で行動しましょう。
- ・見知らぬ人ついて行かない。危険を感じたらすぐ逃げる、大声を出し大人の人に助けを求めましょう。(いかのおす

演劇鑑賞会

劇団ポプラ「オズの魔法使い」

11月28日本校体育館で行いました。「オズの魔法使い」は余りにも有名ですが、「人間にとって一番大切なものは何か」という大きな作品命題を抱えております。

自分で考え、自分で決めよう、心を大切にしよう、勇気をもとう、そして家族のもとへ帰ろう。この普遍的なメッセージは21世紀と時を変えても色あせない永遠の宝ものでしょう。

舞台は脳みそのないカカシ、心のほしいブリキ、勇気をほしいライオン、家族のもとへ帰りたいドロシー。子供たちはこの4人に共感しミュージカルに見入っていました。



親の学び合いプログラム

11月の参観日に、家庭教育アドバイザーをおよびし、家庭教育について情報交換会を行いました。



参加した皆さんは有意義な時間だったとの感想が多数でした。

Skypeによる交流学習

オーストラリアの小学校とのSkypeによる交流会を行いました。お互い質問し合い理解を深める事ができたようです。

